

ふくしまっ子

体力向上総合プロジェクト

H29. 6. 9
第32号
福島県教育庁
健康教育課

小・中・高等学校体育担当者連絡協議会が行われました

4月26日（水）の相双地区を皮切りに、5月31日（水）までの間、7地区において「平成29年度小・中・高等学校体育担当者連絡協議会」が行われました。小学校、中学校、高等学校の体育担当の先生方が一堂に会し、以下の内容で1日の研修を行いました。その様子をお伝えします。（その1）



健康教育課 QR

【本県児童生徒の体力・運動能力の現状】

昨年度の体力テストの結果を基に現状について説明しました。東日本大震災後に落ち込んだ児童生徒の体力が緩やかに回復・上昇傾向にあること。「握力」の結果は全国平均より高いが、「上体起こし」「長座体前屈」の結果は低いこと。小学生から高校生まで男女とも肥満傾向児の出現率が全国よりも高いことが確認されました。

☆昨年度の体力テストの結果 よい → わるい →

- ・児童生徒の体力が緩やかに回復・上昇傾向
- ・握力（全国比較上回り） • 上体起こし、長座体前屈（全国比較下回り）
- ・肥満傾向児の出現率（全国比較上回り）

【実践紹介】

昨年度小・中学校から公募して作成した「元気大賞 Book」を基に、体力向上に向け各校で工夫した取組を紹介しました。また、西郷第一中学校の特徴的な取組である「SST (Sports・Study・Time)」の実践DVDを視聴し、短時間で集中して取り組む体力・学力向上策について理解を深めました。

☆ SST

- ・驚きは・・・
- 清掃を日替わり男女ごとの少数で行い、「清掃」と「体力作り or 勉強(3年生)」を行っていることでした。

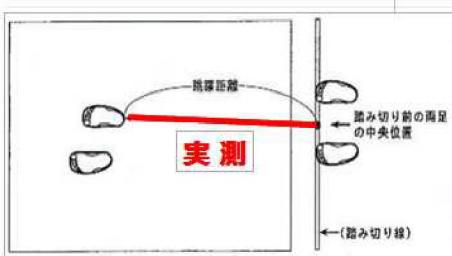


【新体力テストの実施方法と分析結果の活用】

○×クイズを基に「新体力テスト」の正しい実施方法について理解を深めました。特に「立ち幅とび」の計測方法については、走り幅跳びの計測方法と混同している先生が何人か見られました。

☆ 正しい測定

確認のほど、よろしくお願ひします！



- ジャンプ力だけでなく、タイミングをどれだけ合わせられるかや腕を振るなど、体全体を上手につかえるかを見ることができます。